

令和元年度 住民懇談会 議事録（緒川新田地区）



開催日：令和元年 12月 18日（水） 午後7時～9時

会 場：卯ノ里コミュニティセンター

出席者：町長、副町長、教育長、企画政策部長、総務部長、健康福祉部長、生活経済部長、建設部長、教育部長、建設部技監、広報情報課長、防災交通課長、事務局（広報統計係）

参加者：39名

【開会】

（町長）

テーマの説明については別添のとおり

<意見交換>

【まちづくりについて】

やりたいことを
実行できる町♡

みどり豊かな、自然豊かな
東浦町が好き。自然を守り
育みの活動を町内全域でやる。
自然環境を許さず、動植物も
大卒の育みの活動がほしい。

(参加者)

東浦町では、認知症サポーター養成講座を全学校で行っていたり、防災ネットと協力した防災教育を行ったりしています。他市町の方に、東浦町はすごいとほめられます。社会福祉協議会などと協力しながら、地域の方々が自発的にボランティア活動を行っていることは、自慢できる部分だと思います。

(町長)

「緑が好き」「まちが好き」など、いい意見をいただけて嬉しく思います。皆さんに自分のまちが好きという気持ちをもっていただけることは重要なことだと思います。

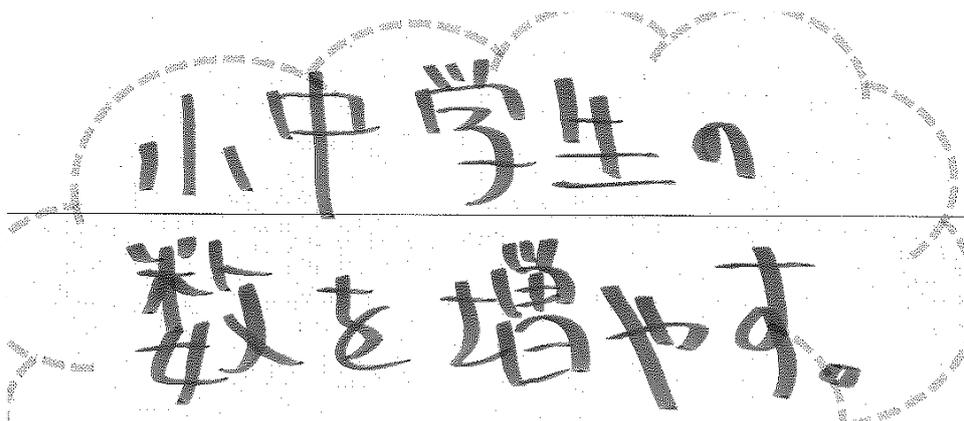
緒川新田地区では、名古屋半田線の建設への関心が高いのかと思います。地主の方のお考えもありますので、この場でお答えできることは限られますが、道路をいかに上手に利用するかを地域で考え、合意形成ができるとよいと思います。

また、皆さんが「こういうことがやりたい」という声をあげることができ、それをコーディネートできる方がいることは、素晴らしいことだと思います。

緒川新田地区では、子どもたちが食事や勉強ができる居場所を考えてくださる方がいらっしゃったり、お酒を飲むことができる場所を考えてくださる方がいらっしゃったりします。

住民の方が、地域に必要なことを自分事としてとらえ、自分たちで作りあげていくことで、強くて住みやすいまちになるとと思います。

【緒川新田地区の教育について】



小・中学校の児童の減対策

小学校 } の校舎の建設費が節約
中学校 }

小学生、中学生の交流ができる。

(教育長)

緒川新田地区では、小中学生の数が減少しているため、現状2クラスであるのが1クラスになってしまう可能性があります。すると、クラス替えなどがなくなることから、人間関係が固定しがちになってしまうことを危惧しています。

そのため、緒川小か卯ノ里小、北部中学校か西部中学校のどちらの学校に進学するか選択できる地区を指定しようと思っています。

また、区画整理がすすめば、子どもたちが増加する可能性も十分あると思っています。

緒川新田地区は、小中学校が1つずつしかありませんが、この小回りが利く利点を生かし、小中連携などの新しい取り組みのできる可能性を秘めていると思います。

(参加者)

今のお話は、東浦町の中で学生を移動させるというお話だったと思いますが、隣の阿久比町の子どもたちと一緒に学ぶ環境を作ってあげることが可能でしょうか。

(教育長)

他市町への越境通学の例はありましたが、学校運営には税金を投入しているため相応分の負担は必要となります。その合意形成ができれば不可能ではないと思います。

阿久比町の教育長とこういった話をしたことはないのですが、今後、話をしていけたらと思います。

(参加者)

まだ卯ノ里小がなかったときは、阿久比町の小学校にお世話になったという話を

聞いたことがあります。

阿久比町は、一つしか中学校がないにもかかわらず子どもが増えています。阿久比町の子が、西部中学校に通うことができるようになれば、お互いにメリットがあると思います。

(参加者)

町として、阿久比町との合併について、どう思っていますか。

(町長)

阿久比町とお互いが Win Win の関係にならないといけなくて、一方的なこちらの都合だけでは成り立ちません。また、動機も明確でないといけないと思っています。

(参加者)

まず話し合いを始めたらどうでしょうか。

(参加者)

防災についても、東浦町と阿久比町の境界があることで、東ヶ丘団地の近隣住民が別の防災訓練に参加することになります。共助を行うためにも、合併にはメリットがあると思います。

(町長)

自治会についても町の境で区切っているのかという話に飛躍するかもしれないですね。

(参加者)

刈谷市・半田市・大府市との広域行政を行っているようですが、知多市・東海市との広域行政についても考えてください。

(町長)

広域行政については、どこかの市町を特定して協力関係を築いているわけではありません。事業ごとに必要に応じて近隣市町と協力をしています。

【地区の行事について】

地域のイベントが困難に
なっている。区それぞれで考えて
実施すればいいのびはないか？
たとえば区民体育祭、ゴミ祭など
同じ区内でも地域によって違いが
ある。

(参加者)

自治会の役員を務めています。役員の高齢化がすすみ、体育祭等の行事を開催することは負担が大きいです。加えて、大変な割に行事への参加者は少ないです。そのため、行事の削減を提案しましたが、「他の地区でも行っているから」と反対されました。地区ごとの実情は異なっているため、地区で知恵を出し合い、その地区で何が必要とされているのかを考える必要があると思います。

防災の行事についても困難になり始めています。地区にとって必要なことはたくさんあると思うのですが、重要な項目に焦点をあてて取り組みを行わないと、全てが中途半端になってしまいます。

(参加者)

地区の行事についての考え方は、男性と女性で異なっていると思います。女性は、子育てをする中で地区に携わる機会がありますが、男性は定年後に役員になるまで、地区に携わる機会がありません。

地区の行事などがなければ、男性は近隣の方と交流を持ってないのではないのでしょうか。

(町長)

地区で本音を交えて話し合いをしていただきたいと思います。

コミュニティの行事は、発足当初からほとんど変わりがありません。コミュニティ発足から30年経過し、地区のニーズも変化していると思いますので、交流行事については整理してもよいかと思いました。以前、自分が参加した経験から考えると、交流行事だけではなく、地域の課題を皆さんで解決できるようにシフトしていったらいいのではないかと思います。

【メガソーラー発電施設の建設について】

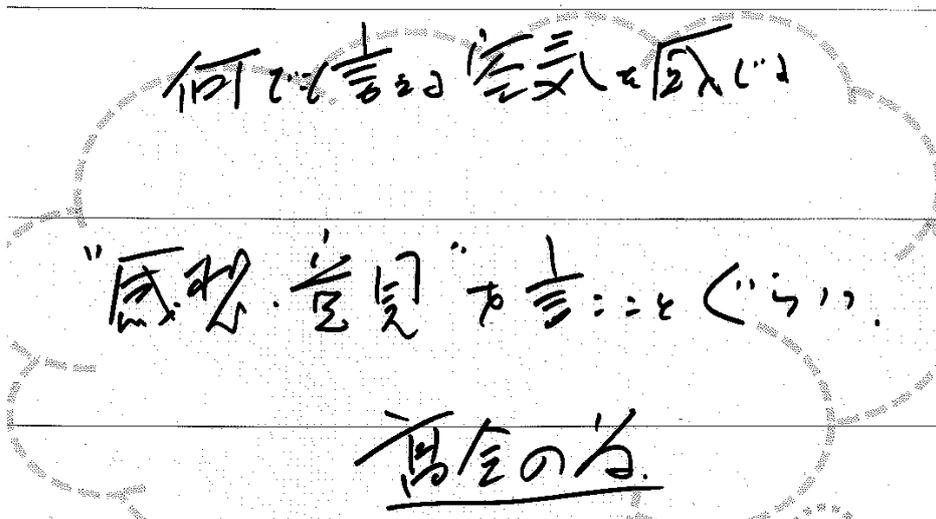
(参加者)

緒川新田地区にメガソーラーが建設され始めていますが、様々な心配事があります。もし、災害時などにパネルが飛んで来たらどうなるのでしょうか。泣き寝入りするのしかないでしょうか。業者の説明は不足しており、近隣住民は不安を感じています。暮らしやすい住環境を保つことができるよう、ご尽力いただけないでしょうか。

(町長)

その問題については、町としても把握しているところです。土地の使い方については、土地の所有者には財産権がありますので土地の用途を規制することはできません。そのため、所有者と近隣住民が折り合いをつけながら解決の糸口を探っていかなければならないと思います。

【住民の意見の収集方法について】



(参加者)

行政の最大の課題は、住民の意見をいかに把握するか、また、町の考えを住民にいかに伝えるかだと思います。

住民の側からみると、公共施設の建て替えなどの問題については、目に見える課題であり、住民の中でも意見が分かれるところだと思います。そういったときに、住民の意見をいかに集約し、計画をたてるのか考えなくてはなりません。

町、議会、住民それぞれが、住民の声を把握する仕組みづくりを検討して欲しいと思います。それが、議会の存在感を高める動きにつながると思います。

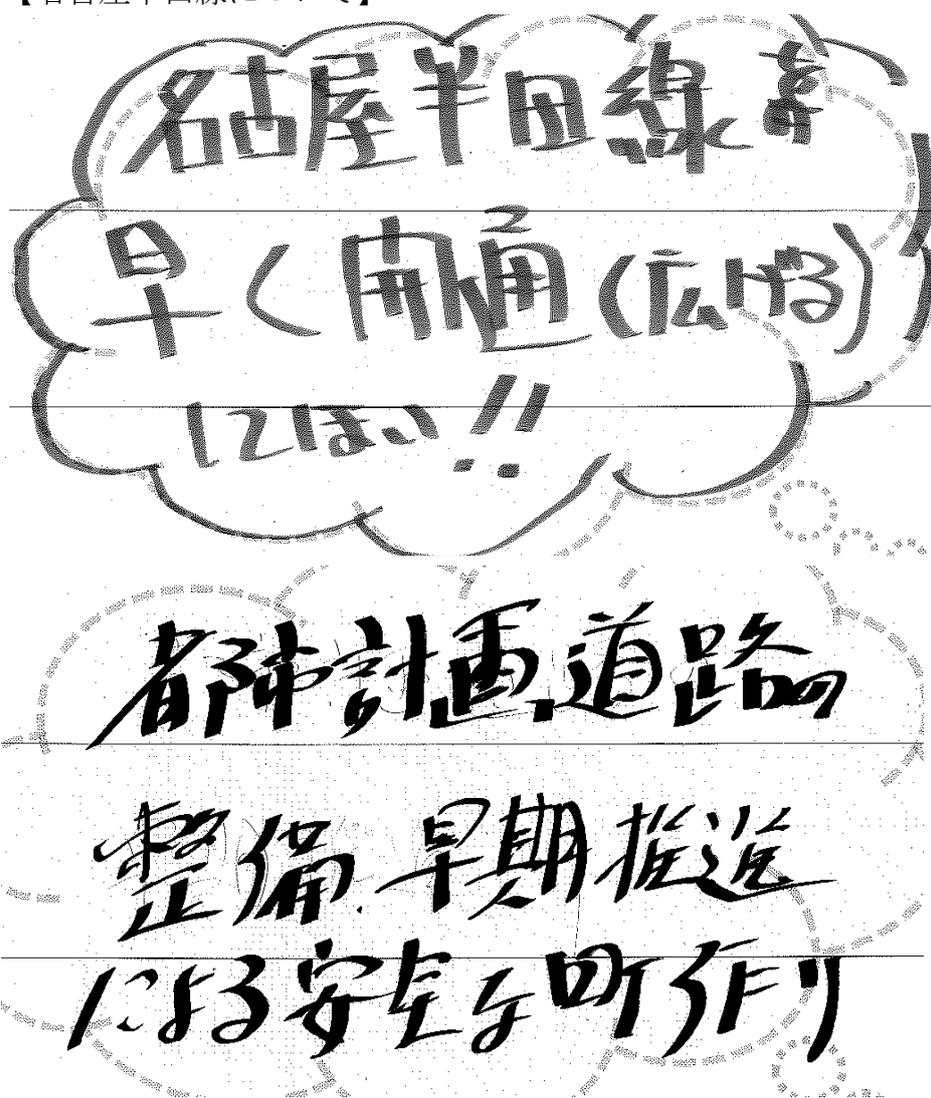
(町長)

意見を収集しても、一部の偏った意見しか集められないことも多いです。あまり声をあげない方を、話し合いの場に集めるには、どうしたらいいのか苦慮しているところです。無作為抽出で参加者を決定した例もあります。

本日の住民懇談会のような場を、繰り返し実行していくことが重要だと思っています。

生路地区では、夜間に議会を開催しては、という意見がありました。アメリカでは、議会の傍聴者が自由に発言できる仕組みもあります。

【名古屋半田線について】



(参加者)

名古屋半田線の建設について町の考えを聞きたいです。

(建設部長)

都市計画道路名古屋半田線の建設については、地権者の合意を得られなければなりません。

今後の予定として、令和2年1月以降、測量を行うための説明会を行います。その後、測量・設計を行い、用地取得に入っております。

用地の取得状況により、スケジュールは変わりますが、順番に進めております。

(参加者)

現状、どこまで建設はすすんでいるのですか。

(建設部長)

まず、令和2年1月以降、道路線形を決定するため、現地に入っでの測量を行います。その測量の説明会を行います。

測量後、設計、用地取得と順に進んでまいります。

(参加者)

今までは、測量もやっていないのですか。今までは構想だったのですか。

(建設部長)

現地に入っでの測量はしていません。今までは図面上での測量です。

(参加者)

まったく進んでいるように見えません。

(町長)

都市計画道路名古屋半田線の建設については、順を追って進めていきます。

【町運行バス「う・ら・ら」について】

う・ら・らの小型車利用を、スマホ
(グーグルズ)との併用が新聞に
載っていましたか。どの様にすれば
良いのでしょうか？

(参加者)

小型車ののりこぼしなどが問題になっていますが、効率よく皆さんに利用していただける仕組みがあるのであれば、いち早く住民に知らせてほしいです。

(広報情報課長)

令和元年6月から、グーグルマップで町運行バス「う・ら・ら」のダイヤ等が調べられるようにさせていただきました。ぜひご利用ください。

【文化センターについて】

町民が利用できる
常設の会館・ホール
がほしい。500席
程度

(参加者)

近所に住む務川 慧悟さんが有名なピアノコンクールで優勝し、文化センターで凱旋コンサートが行われましたが、すぐに定員がいっぱいになってしまいました。

東浦町の規模にふさわしい 500 人収容程度の常設のホールがあるといいと思います。

(町長)

関連のあるご意見の方はいらっしゃいますか。

(参加者)

阿久比町は庁舎を建て替えるときに、ホールも一緒につくっています。そんなに遠くない未来に、ホール建設も可能ではないでしょうか。

(町長)

役場の耐用年数が来た時には、役場を建て替えることにはなりますが、ホール建設については、住民の皆さんがどのような選択をされるかによるものと思います。

住民の皆さんによって継続的に運営ができればいいのですが、毎日 500 人収容のホールを埋めることができるのか、皆さんにも考えていただいたうえで判断していくべきだと思います。

何かの決定を行う際には、必ず皆さんのご意見を伺ったうえで決定しますので、話し合いの場には皆さんに参加してほしいです。また、ホールの建設にあたっては、住民の皆さんが使う側にも運営する側にもなるということを念頭においてほしいです。

(町長)

住民懇談会については、毎年行っていきたいと思っています。また、住民の皆さんのご意見をいただく方法につきましても、ご意見があれば頂戴したいと思っています。皆さんのアイデアや叱咤激励をお待ちしています。

【閉会】